

35ミリフィルムで
よみがえる さくらももこワールド

劇場用オリジナル長編



し
あ
じ
み
し
ま
し
よ
う

ちびまる子ちゃん

わたしの好きな歌

企画：宮永正隆
原作・脚本：さくらももこ
(映画原作特別許可下ろし版・集英社刊)
監督：須田裕美子
芝山 昇
配給：東宝



ユーロスペース
EUROSPACE

35ミリ
フィルムでよみがえる

昨年劇場公開30周年を迎えた『ちびまる子ちゃん わたしの好きな歌』を貴重な35ミリフィルムで上映!!

まる子
ちびまる子ちゃん
わたしの好きな歌

【監督】
須田裕美子、芝山努
【原作・脚本】
さくらももこ
【声の出演】
TARAKO、水谷優子、
屋良有作、一龍齋貞友、富山敬、
佐々木優子、高橋由美子、松本保典
ほか

■1992年/日本/92分/カラー/35mmフィルム/配給:東宝

©さくらももこ/(株)さくらプロダクション・日本アニメーション1992

今年の夏は
ぜひ、まる子に会いに
ユーロスペースに
来てください。

My Favorite Song

STORY

学校で「めんこい仔馬」という歌を習ったまる子ことさくらももこは、それを図工の時間の絵のテーマにするがどのように描いたらいいか分からなかった。ある日、静岡の祖母の家近くで絵描きのお姉さんに会い、「めんこい仔馬」は、実は戦争で馬と少年が別れなければならない悲しい歌なのだと言われ、3番の歌詞まで教えてもらい……。

この作品の
見どころの

ひとつは、なんとといっても音楽パートのファンタジックでエキセントリックな映像。原作者さくらももこが実際に愛聴していたという、まさに「わたしの好きな歌」たちを、スクリーンから踊り出するようなアニメーションと一緒に楽しめます。監督は須田裕美子・芝山努。作画には『犬王』の湯浅政明らが参加しています。脚本はさくらももこが自ら書き上げました。まる子と絵描きのお姉さんとの偶然の出会いと心あたたまる交流、おなじみのクラスメートたちや家族とのゆかいな日常……。さらに、この物語は「めんこい仔馬」(1940年/作詞:サトウハチロー 作曲:仁木他喜雄/陸軍省選定)という歌をととして、戦争による別れの悲しさを痛切に伝えています。

【劇中で流れる名曲たち】

*登場順

- ♪ めんこい仔馬 (クラスのみんな)
- ♪ 1969年のドラッグレース (大滝詠一)
- ♪ ダンドウト、レゲエ (チャンプル〜DKI)
- ♪ ヒロシの入浴 (父ヒロシ)
- ♪ はらいそ (細野晴臣)
- ♪ 買い物ブギ (笠置シズ子)
- ♪ 星を食べる (たま)
- ♪ B級ダンシング (はまじ・関口・ブー太郎)
- ♪ エンディング主題歌「だいすき」 (高橋由美子)

【終戦78年】関連上映作品



「東京裁判」4Kデジタルリマスター版

監督:小林正樹

1983年/日本/277分/モノクロ/DCP 配給:太秦

第二次世界大戦後の1946年、マッカーサー元帥の命令で戦争犯罪人の処罰を決めるため行われた、通称「東京裁判」。アメリカ国防総省が密かに保管していた、その膨大な裁判記録のフィルムからつくられたドキュメンタリー。昭和、平成、令和と時代が移り変わっても、戦争もたらした負の遺産を改めて観る者に問いかける。

©講談社2018

8月5日(土)、6日(日) 上映



「野火」

原作:大岡昇平「野火」

出演:塚本晋也、リリー・フランキー、中村達也、森優作
監督・脚本・編集・撮影・製作:塚本晋也

2014年/日本/87分/カラー/DCP/PG12 配給:新日本映画社

第二次世界大戦末期、日本軍の敗戦が色濃いフィリピン・レイテ島。田村一等兵は結核を患ったが少ない食料しか持ち合わせておらず野戦病院を追い出され、部隊にも戻れず野原をさまようことになる。空腹と孤独、そして容赦なく照りつける太陽の熱さと戦いながら、田村が見たものとは、

©SHINYA TSUKAMOTO / KAIJYU THEATER

8月15日(火) 上映

8月11日(金)から8月17日(木)まで

1週間【限定】上映!

入場
料金

一般1400円、会員・シニア1200円、
大学・専門学校生1100円、高校生800円、
中学生以下500円

ユーロスペース

EUROSPACE

東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F
☎03-3461-0211

www.eurospace.co.jp

渋谷文化村前交差点左折

